



石川県議会
マスコットキャラクター

石若丸
いし わか まる

県議会だより いしかわ

令和6年奥能登豪雨の 被災地で広がる ボランティアの輪 県内外の企業も協力

昨年9月に発生した奥能登豪雨では、線状降水帯の発生で県内に初めて大雨特別警報が発表されました。奥能登地域では河川の氾濫や土砂崩れなどにより、16人の尊い命が犠牲になり、住家被害も多数にのぼるなど甚大な被害を受けました。

宅地や家屋内に流れ込んだ土砂は重機での撤去が難しいため、ボランティアの皆さんが連日、スコップを使って泥かきをしています。

この善意の輪は県内外の企業にも広がり、休暇制度を整えるなど、社員がボランティア活動に参加しやすい体制づくりを進める事業者も増えています。

昨年1月の能登半島地震に続いて二重に被災した世帯も多く、県議会としても引き続き、両災害の被災者支援に全力を注いでまいります。



今号の
トピックス

- 県議会ダイジェストvol.3
- のと里山空港仮設飲食店舗がオープン
- 国内最大級の伝統工芸の祭典が石川県で開催

県議会ダイジェスト

Vol.3

～令和6年9月定例会～

定例会や常任委員会などで意見を述べたり質疑を行ったりすることで、県民の皆様の要望や思いを県政に届け、県の取り組みに反映させることは、議員の重要な役割の一つです。令和6年9月定例会で8人が行った質疑の一部を掲載します。
※二次元コードから各議員の質疑の映像をご覧ください。



石川県議会ホームページで、本会議・予算委員会の生中継や過去の映像をご覧ください。



代表質問

安居 知世

やすいともよ

4期 自由民主党



社会福祉会館の整備方針について

Q 新たな社会福祉会館に、事務所を持っていなかったり、会議やセミナーの開催場所の確保に苦労していたりする福祉団体が使用可能なスペースを設置してはどうか。また、同時に整備する中央児童相談所の一時保護所については別棟にすべきと考えるがどうか。

A 新たな社会福祉会館には、さまざまな福祉の担い手に活動の場を提供し、連携した取り組みを促進する機能が求められていることから、こうした方々の活動の場の提供について、今後、基本構想策定検討委員会で具体的な検討を進める。また、社会福祉会館と同一敷地内での整備を進める一時保護所については、児童の安全で安心して過ごせる場となるよう最大限配慮する必要があると考えており、別棟とすることも含め、専門家の意見も踏まえながら、しっかりと検討していく。



一般質問・予算委員会

稲村 建男

いなむら たけお

11期 自由民主党



能登半島地震の義援金について

Q 義援金の残額の活用方法として、例えば、り災証明を受けた世帯に対し一定額を配分するなど、能登6市町以外の被災者への配分も考えてはどうか。

A 既に配分した義援金の世帯当たりの額は、これまでの熊本地震などと比べ手厚くなっていること、その上で未配分額が82億円余りあることを踏まえ、6市町以外でり災証明書を受けた世帯にプッシュ型で支援する方法で、例えば、1世帯当たり7万円など一定額を配分してはどうかと考えている。今後、開催する配分委員会で議論したい。



田中 敬人

たなか たかひと

3期 自由民主党



能登半島地震からの復旧・復興について

Q 創造的復興を持続的に進めるには外部資金の積極的な獲得が重要とされているが、人口減少が進む能登地域の復興を進めるため、域外からスタートアップ企業などを呼び込むことが必要と考える。こうした企業の後押しをしてはどうか。

A 県では、10月に「いしかわイノベーションベース」を金沢市内に開設し、学生を含め、スタートアップを目指す方々を対象に、企業に必要な知識や心構えを学ぶセミナー等を開催することとしている。さらに、東京都のスタートアップ支援拠点で、首都圏をはじめとしたスタートアップ企業に能登の現状を説明し、復興にかかる課題解決策などを提案していただきたいと考えている。新たな県内拠点を核として、能登の復興に向けたスタートアップの創出・誘致にしっかり取り組みたい。



太郎田 真理

たろうだ まり

3期 自由民主党



医療版ワーケーションについて

Q 医療不足解消と多忙化改善のため、県外等の医師が休暇を兼ねて、滞在地域の病院で、夕方から夜間にかけて臨時的に勤務する医療版ワーケーションを導入してはどうか。

A 医師を対象とするワーケーションは、広島県福山市で令和4年度から、和歌山県で今年度から始まった取り組みで、医師不足による医療現場のひっ迫緩和などを目的に、近隣の観光と合わせ、分娩や救急などの医療機関で勤務していただくことと承知している。この取り組みは始まったばかりで評価は難しいが、医師不足地域において医師の確保に寄与する可能性がある一方、医師が慣れない環境で診療を行うことなど課題もあるため、先進地域の実績や実情などをしっかりと検証した上で、対応していきたいと考えている。



安実 隆直

あんじつ たかなお

2期 自由民主党



防災拠点としての給食センターの整備について

Q 過去に大震災のあった被災地など、全国で防災機能を備えた給食センターの整備が進んでいる。本県でもそういった施設を整備する考えはないのか。

A 学校給食の調理場の設置主体は市町であることから、市町における自主的な対応が望まれるが、被災した能登の市町の実情を考えると、現在、復旧の途上であり、さまざまな対応も必要であるため、財政面や技術面などにおいても厳しいと考えられる。今回の震災を踏まえ、石川県としては、防災機能を備えた学校給食の調理場の整備について、今後の検討課題としてまいりたい。



打出 喜代文

うちできよふみ

2期 未来石川



能登半島地震からの創造的復興について

Q ふるさとの未来がどのようなになるかを知ってもらうために、創造的復興プランの概要を分かりやすい形でまとめた子ども向けの小冊子を作成し、小・中学校を通じて配布してはどうか。

A 県の創造的復興プランは若者や現役世代の声を十分反映させるため、子どもたちも参加した「のと未来トーク」などで被災地のさまざまな声を聞き、策定した。子ども向け小冊子については、小冊子という形以外にも、例えば、1人1台端末を活用し、分かりやすい動画を用いるといったことも考えられる。今後、教育委員会と連携し、どうすれば子どもたちに分かりやすく、また、学校現場などで活用しやすいものになるか、検討を進めていきたい。



高辻 伸行

たかつじ のぶゆき

1期 自由民主党



復興基金を活用した神社仏閣の復旧支援について

Q どのような施設が神社仏閣の復旧支援の対象となり、それは能登地域以外でも対象となるのか。また申請窓口となる市町に対して、県はどのようにフォローするのか。

A 対象施設は、集会所や神社仏閣など、当該市町に存在し、専ら地域住民が利用し、維持管理も担っていること、当該地域の住民が参加する祭りや行事などのコミュニティ活動に利用され、今後も活用されることが確実であること、といった要件すべてを満たし、市町長がコミュニティを維持するため復旧が必要と判断した施設が支援対象となり、能登地区以外も同様である。市町に対しては説明会を開催し、対象施設の判断基準や熊本地震での事例を共有するなどしてフォローしていきたい。



馬場 弘勝

ばばひろかつ

1期 自由民主党



修学旅行の探究的な震災学習プログラムの検討について

Q 能登の修学旅行では、里山里海の自然体験に加え、単なる見学ではない、復興プロセスを含めた探究的な震災学習プログラムを検討すべきと考えるが、どうか。

A 修学旅行に求められる探究的な学習を実現する上では、被災地の見学を通じ防災意識を高めることにとどまらず、その土地に暮らす人との交流を通じて農業や漁業、伝統産業などの生業に触れるとともに、復興への道のりをどのように歩んでいくのかという点を実際に聞き、見て、体験することが大変重要であると考えている。今後、こうした点も踏まえ、震災学習プログラムの内容や実施体制について、地元の関係者とともに検討したい。



のと里山空港仮設飲食店舗がオープン

復旧・復興支援者をサポート

のと里山空港仮設飲食店舗「NOTOMORI (のともり)」が昨年11月2日、同空港敷地内にオープンしました。

現在、能登には復旧・復興に携わる工事関係者が県内はもとより、全国から集まっています。しかし、営業を再開している飲食店が少なく、「食事に不便を感じる」という声が多く寄せられていたことを受けて県が整備しました。

地震や豪雨で被災した能登の6店舗が食事やドリンクを提供するほか、コンセントやWi-Fiを完備し、コワーキングスペースとしても活用できます。



「NOTOMORI」の外観



オープニング
セレモニーの様子

国内最大級の伝統工芸の祭典

石川県で12年ぶりに開催

全国の伝統工芸品を一堂に集め、展示や販売を行う「第41回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」が昨年11月8日から3日間、金沢市内で開催されました。

石川県では12年ぶり4回目の開催となりました。大会テーマに「工芸の底力・復興の翼」を掲げ、令和6年能登半島地震から力強く復興する姿を発信すべく、期間中、輪島塗、九谷焼、加賀友禅などの職人による製作実演や製作体験が催され、訪れた約10万人が伝統工芸の魅力と技に触れました。



テープカットで
開催を祝う関係者



多くの方が会場に
訪れました

前号の誤りとおわび 前号の題字に誤りがありました。関係者の皆さまにおわび申し上げます。

県議会の活動を伝える広報紙

県議会
だより
第51号

編集・発行 / 石川県議会 (年4回発行)
令和7年1月11日発行

●お問い合わせ 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
TEL 076 (225) 1036 FAX 076 (225) 1037

石川県議会
ホームページ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索



県議会に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからもお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。

メールアドレス
gikai@pref.ishikawa.lg.jp